

第28期【償還】

運用報告書(全体版)

セクターインデックス10

(業種選択型)

セクターJ(マネープール)

【2017年4月27日償還】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様の「セクターJ(マネープール)」は、2017年4月27日をもちまして信託約款の規定に基づき、繰上償還となりました。ここに設定以来の運用経過及び償還内容のご報告をいたしますとともに、皆様のご愛顧に対して改めてお礼申し上げます。

今後とも、弊社ファンドに対しまして、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>



※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/債券
信託期間	1989年11月22日から2017年4月27日(当初無期限)までです。
運用方針	本邦通貨表示の公社債およびわが国の金融商品取引所に上場(上場予定を含みます。)されている株式を主要投資対象とし、安定した収益の確保をはかることを目的として、安定運用を行います。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債およびわが国の金融商品取引所に上場(上場予定を含みます。)されている株式を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎年11月21日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた配当、利子収入と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。原則として配当等収益は全額を分配し、売買益は基準価額水準・市況動向等を勘案して分配します。分配金は、税金を差し引いた後、再投資いたします。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価 額			債券組 入率	債券先 物率	純資 産額
		税分	込配	み金 期騰落			
(設定日)	円		円		%	%	百万円
1989年11月22日	10,000		—		—	—	50
1期(1990年11月21日)	10,024		500		5.2	—	105
2期(1991年11月21日)	10,024		600		6.0	—	70
3期(1992年11月21日)	10,004		325		3.0	—	49
4期(1993年11月21日)	10,004		155		1.5	—	66
5期(1994年11月21日)	10,001		70		0.7	—	112
6期(1995年11月21日)	10,005		15		0.2	58.8	92
7期(1996年11月21日)	10,198		20		2.1	79.8	30
8期(1997年11月21日)	10,295		100		1.9	40.3	26
9期(1998年11月21日)	10,326		0		0.3	40.9	25
10期(1999年11月21日)	10,392		0		0.6	28.0	38
11期(2000年11月21日)	10,248		0	△1.4	58.3	—	6
12期(2001年11月21日)	10,102		0	△1.4	—	—	7
13期(2002年11月21日)	9,945		0	△1.6	—	—	1
14期(2003年11月21日)	9,909		0	△0.4	—	—	1
15期(2004年11月22日)	9,903		0	△0.1	—	—	0.548956
16期(2005年11月21日)	9,896		0	△0.1	—	—	0.548338
17期(2006年11月21日)	9,896		0	0.0	—	—	0.548360
18期(2007年11月21日)	9,930		0	0.3	—	—	0.357539
19期(2008年11月21日)	9,966		0	0.4	—	—	0.879827
20期(2009年11月24日)	9,967		0	0.0	—	—	0.194816
21期(2010年11月22日)	9,966		0	△0.0	—	—	0.335581
22期(2011年11月21日)	9,963		0	△0.0	—	—	0.194740
23期(2012年11月21日)	9,960		0	△0.0	—	—	0.194686
24期(2013年11月21日)	9,957		0	△0.0	—	—	0.194627
25期(2014年11月21日)	9,954		0	△0.0	—	—	0.194563
26期(2015年11月24日)	9,949		0	△0.1	68.2	—	1
27期(2016年11月21日)	9,940		0	△0.1	68.2	—	1
(償還時)	(償還価額)						
28期(2017年4月27日)	9,930.49		—	△0.1	—	—	1

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万口当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込みです。

(注) 設定日の基準価額は1万口当たりの当初設定元本額です。設定日の純資産総額は当初設定元本総額です。

(注) 当ファンドは、特定の指数を上回るまたは連動する成果を目指した運用を行っておりません。そのため、特定のベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

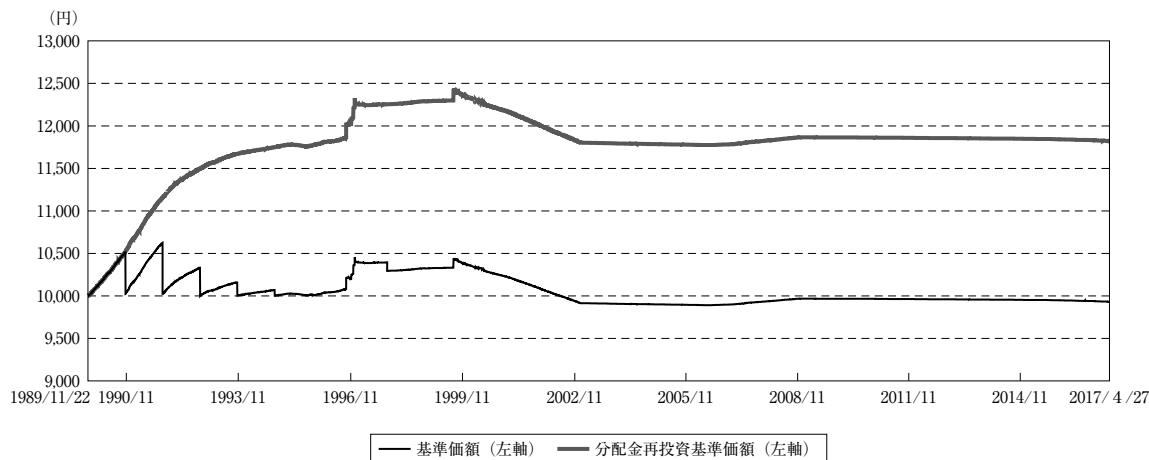
年 月 日	基 準	価 額			債券組 入率	債券先 物率
		騰	落	率		
(期首)	円			%	%	%
2016年11月21日	9,940			—	68.2	—
11月末	9,940			0.0	68.9	—
12月末	9,937			△0.0	68.8	—
2017年1月末	9,936			△0.0	68.7	—
2月末	9,935			△0.1	68.6	—
3月末	9,934			△0.1	68.5	—
(償還時)	(償還価額)					
2017年4月27日	9,930.49			△0.1	—	—

(注) 騰落率は期首比です。

設定以来の運用経過

設定以来の基準価額等の推移

(1989年11月22日～2017年4月27日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金再投資基準価額は、設定日（1989年11月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

設定以来の投資環境

(1989年11月22日～2017年4月27日)

国内の短期金融市場は、1990年8月にかけて景気の過熱を抑制する目的から公定歩合が引き上げられましたが、金融引き締めを推進した結果、地価や株価のバブルが崩壊したため、1991年7月以降は公定歩合が引き下げられました。日銀は1995年3月から、金融調節の操作目標を公定歩合から無担保コール翌日物金利に変更し、1999年2月には無担保コール翌日物金利を事実上ゼロ%で推移させるゼロ金利政策が導入されました。さらに、2001年3月には、日銀の当座預金残高を金融調節の操作目標とする量的金融緩和策が導入され、大量の資金供給が行われました。その後、リーマンショック前後には金融市場が混乱する場面もありましたが、日銀が金融緩和姿勢を継続したことで短期金利は概ね低位での推移が続きました。2013年以降は、黒田日銀総裁が金融緩和政策を一段と強化したことで短期金利はさらに水準を下げ、2016年2月にマイナス金利政策が導入されたことを受けて、無担保コール翌日物金利はマイナス圏に突入しました。

設定以来の当ファンドのポートフォリオ

(1989年11月22日～2017年4月27日)

当ファンドは、セクターインデックスの各ファンドへの投資タイミングにそなえるため、投資資金を一時待機させる目的で設定されました。運用につきましては、投資信託財産の規模や資金動向に留意しつつ、公社債、コール・ローン等を中心に安定収益の確保を目指し運用してまいりました。

設定以来の当ファンドのベンチマークとの差異

(1989年11月22日～2017年4月27日)

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載していません。

○1万口当たりの費用明細

(2016年11月22日～2017年4月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 5	% 0.046	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(2)	(0.019)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(2)	(0.019)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.009)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
合 計	5	0.046	
期中の平均基準価額は、9,936円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年11月22日～2017年4月27日)

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	特殊債券	千円 808	千円 802 (800)

(注) 金額は受渡代金です。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨てです。

(注) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年11月22日～2017年4月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2016年11月22日～2017年4月27日)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
円 1,085,204	円 -	円 -	円 1,085,204	商品性を適正に維持するための取得

○組入資産の明細

(2017年4月27日現在)

有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2017年4月27日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 1,173	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,173	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てです。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2017年4月27日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	1,173,189
コール・ローン等	1,173,189
(B) 負債	496
未払信託報酬	494
未払利息	2
(C) 純資産総額(A-B)	1,172,693
元本	1,180,901
償還差損金	△ 8,208
(D) 受益権総口数	1,180,901口
1万口当たり償還価額(C/D)	9,930円49銭

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は0.993049円です。

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は8,208円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は1,180,901円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円です。

○損益の状況

(2016年11月22日～2017年4月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	5,684
受取利息	5,714
支払利息	△ 30
(B) 有価証券売買損益	△ 6,344
売買損	△ 6,344
(C) 信託報酬等	△ 494
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,154
(E) 前期繰越損益金	△ 1,652
(F) 追加信託差損益金	△ 5,402
(配当等相当額)	(19,318)
(売買損益相当額)	(△24,720)
償還差損金(D+E+F)	△ 8,208

(注) 損益の状況の中で、(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額、監査費用を含めて表示しています。(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	1989年11月22日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2017年4月27日		資産総額	1,173,189円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	496円
				純資産総額	1,172,693円
受益権口数	50,000,000口	1,180,901口	△48,819,099円	受益権口数	1,180,901口
元本額	50,000,000円	1,180,901円	△48,819,099円	1万口当たり償還金	9,930円49銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第18期	360,069円	357,539円	9,930円	0円	0.0000%
第19期	882,820	879,827	9,966	0	0.0000
第20期	195,462	194,816	9,967	0	0.0000
第21期	336,729	335,581	9,966	0	0.0000
第22期	195,462	194,740	9,963	0	0.0000
第23期	195,462	194,686	9,960	0	0.0000
第24期	195,462	194,627	9,957	0	0.0000
第25期	195,462	194,563	9,954	0	0.0000
第26期	1,180,901	1,174,882	9,949	0	0.0000
第27期	1,180,901	1,173,847	9,940	0	0.0000

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税引前）	9,930円49銭
----------------	-----------

<お知らせ>

- ・ファンドにつきましては、受益権口数が投資信託約款の繰上償還に関する規定である10億口を下回る状態が継続しており、また残高の大幅な増加も見込みにくいと考えることから、ファンドの運用方針に則った運用を継続することが困難となりました。こうしたことから、投資信託契約を解約し、受益者の皆さまからお預かりした運用資産をお返しすることが受益者の皆さまにとって最善であると考え、信託終了（繰上償還）の手続きを行うことといたしました。
- 上記の内容につきまして、2017年2月20日現在の受益者の方を対象として、異議申立の受付を行いました。
- その結果、異議申立をされた受益者の受益権の合計口数が2017年2月20日の受益権総口数の2分の1を超えなかったため、2017年4月27日をもちまして信託終了（繰上償還）することとなりました。